

2010年 第2回 IEEE 福岡支部理事会 議事録案 (2010/6/26 版)

日 時：平成 22 年 6 月 26 日 (土) 12:00～15:05

場所：九州先端科学技術研究所 (九州先端研 ISIT) 会議室

出席：岡田、末次、窪寺、内田、渡辺、檜崎、二宮、西本、川根 (事務局)

議 題：

1. 前回議事録の確認

末次 Secretary より議事録案の概要説明があった。

2. JC 理事会報告

代理出席した末次 Secretary より 2009 年 12 月 14 日開催の JC 理事会の議事内容の説明があった。Long Range Strategy Committee では潜在的ボランティア候補のリストアップを進めていくこと等の活動計画が説明された。History Committee では IEEE 本部で IEEE Technical Tour という産業史跡をめぐるツアーが企画され好評であったため日本でもそのようなツアーを企画したいという報告があった。

3. 支部活動状況および会員数の中間報告

2010年6月末でActiveメンバーは767人であり、昨年の一時的な減少から持ち直した。これは member グレードの数が持ち直したことによる。学校別集計では熊本大が最多17名で九大14名、早稲田13名、九工大12名である。Society 別では Computer Society が最多であった。

Senior メンバーの承認は Senior 3 名による推薦でほぼ機械的に承認されるため、もっと組織的に Senior アップグレードを進めることが提案された。次回理事会では Senior Upgrade 候補者で Reference がいない人の Reference 割り振りを理事会中に行うこととなった。

4. 福岡支部学生研究奨励賞について

募集案内・募集方法とスケジュールについて審議した。前回の理事会での決定に従い学生研究奨励賞の応募条件にレフリー付き論文に限るという条項を加えた。加えて連合会国際セッションで発表された論文を救済するために連合大会の若手表彰制度に参画することとした。国際セッションで発表された論文を対象に連合会の若手表彰制度によって表彰を行う。表彰件数は各セッション1件をめどとする。発表の審査のために我々のうち1名は実際に発表を聞いて採点を行う。今年度の参画は手続き上難しいので来年度から参画する。

5. その他

5-1. TENCON 準備状況について

5月31日に投稿を締め切り約700件の投稿論文があった。7月25日を締め切りに

査読を進めている。

5-2. 役員改選スケジュール

Section Addendum の規程により 9 月 15 日までに Nomination Committee 推薦の候補 (Chair, Vice-Chair, Secretary, Treasurer) を決定し、Nomination Committee 推薦候補者名を載せた Call for petition candidates のメールを配信する。10 月 1 日まで petition を受付け、petition が無ければ Nomination Committee 推薦候補の就任が決定する。

5-3. 次回理事会

次回理事会は来年 1 月末に行う。日程調整は後日行う。今回は新役員との合同開催となる。

(議事録作成: 末次)